

# 「地域医療体験ツアー」参加者を対象とした、オンライン型地域医療教育が医学科生に及ぼす影響に関する観察研究

## はじめに

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座医学教育学分野地域医療教育学部門(以下、当部門)では、当部門が主催している課外実習「地域医療体験ツアー」(以下、体験ツアー)に参加された医学科生の方を対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等がございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

## 1. 研究概要および利用目的

当部門では、地域医療に興味のある医学科・保健学科の1年生を対象として、地域の診療所を視察し意見交換を行う体験ツアーを行っています。2019年度までの体験ツアーは、実際に現地へ赴き、対面で意見交換する形式で行われておりました。実習内容の改善を目的として、毎年、参加者の皆様には体験ツアーの前後でアンケートに回答していただいております。これまでの結果から、体験ツアーが医学科生の地域医療に対する意欲や態度、将来のキャリアの希望に影響を及ぼすことが分かっています。しかし、2019年12月に初めて報告された新型コロナウイルスの流行に伴い、2020年度の体験ツアーは、完全オンライン形式で行われました。オンライン形式であっても、無事全行程を終えることができましたが、オンライン形式の体験ツアーが、対面形式同様、医学科生の地域医療に対する意欲や態度、将来のキャリアの希望に影響を及ぼすかどうかは明らかとなっていません。そこで、2018～2020年度に開催された体験ツアーに参加した医学科生の皆様のアンケート結果を用い、2018年度・2019年度(対面形式)に参加された方と、2020年度(オンライン形式)に参加された方のデータを比較することで、オンライン形式の体験ツアーが、医学科生の地域医療に対する意欲や態度、将来のキャリアの希望に影響を及ぼすかどうかを評価する研究を実施することといたしました。

## 2. 研究期間(データの解析が終了するまでの期間)

この研究は、神戸大学大学院医学研究科 研究科長承認日から2021年3月31日まで行う予定です。

## 3. 研究に用いる情報の種類

・参加者背景:学籍番号(前後データの突合に使用した後、削除します)、年齢、性別

・アンケートの結果:

- 1) 実習評価:実習の楽しさ、意義
- 2) 施設評価:教育に対する熱意
- 3) 地域で働く医師への評価:立派、楽しそう
- 4) 地域医療に対する態度:やりがい、自信
- 5) 将来の勤務地の希望:へき地、都市部
- 6) 将来の診療科の希望:総合診療科、臓器別専門科
- 7) オンラインでのグループワーク評価:全般的評価、ストレス
- 8) グループワークで感じたストレスの内容

- 9) オンラインでの施設実習評価:全般的評価、ストレス
- 10) 施設実習で感じたストレスの内容
- 11) オンライン型実習の全般的評価
- 12) 新型コロナウイルス感染症終息後におけるオンライン型実習開催希望
- 13) 新型コロナウイルス感染症終息後にも開催してほしいオンライン型企画
- 14) オンライン型実習の利点・改善点

#### 4. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、体験ツアーに参加された方の情報は、直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、当部門の鍵のかかる保管庫に保管します。

#### 5. 情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座 医学教育学分野 責任者:岡山 雅信

#### 6. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・すでにご回答いただいたアンケートデータを使用するため、特にありません。

#### 7. 研究終了後のデータの取り扱いについて

対象となる方よりご提供いただきました情報は、研究期間中は当部門において厳重に保管いたします。ご提供いただいた情報が今後の医学教育の発展に伴って、新たに重要な情報をもたらす可能性があり、将来そのような研究に使用することがあるため、研究終了後も引き続き当部門で厳重に保管させていただきます。(保管期間は最長で10年間です。)

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、医学倫理委員会の承認を得た後、情報公開文書を作成し、当部門のホームページに掲載します。

ただし、対象となる方が本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された場合には、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

#### 8. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、対象となる方を特定できる情報は利用しません。

#### 9. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、対象となる方のデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

## 10. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座医学教育学分野地域医療教育学部門

担当者:八幡 晋輔

〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-5 神戸大学医学部附属地域医療活性化センター

TEL:078-382-6732

FAX:078-382-6283

E-mail: [dcme@med.kobe-u.ac.jp](mailto:dcme@med.kobe-u.ac.jp)

受付時間: 10:00 - 17:00 (土日祝日はのぞく)

研究責任者:

神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 医学教育学分野 岡山 雅信